

【活動エリア】 東久留米市内

【活動日】 適宜

【代表名・問い合わせ先（電話・メールアドレスなど）】

田中昌彦 電話080-8893-5944 メールアドレス henna3ogisan@ezweb.ne.jp

第7期 市民環境会議「みんなでワーク」活動力に関する提案

みんなでワークの課題「学習と協働」の現状活動を新しい視座で「見える化」する
こと、動機を浮き彫りに今後の参考に

A) 学習に関して

(1) 環境学習のアンケート調査を実施

市内各団体及び法人等の活動状況を把握する目的でアンケート調査協力を願った。

質問項目は約15項目にありましたが回答は36件。その内32件の事例が

36件の回答の内 ... 自然環境に関するものが28件

暮らし環境に関しては8件

現在、行われている暮らし環境問題の温暖化・エネルギー・プラスチック問題が課題として
残る ... 特に市民生活にも直接関わるテーマであるが

(2) みどり塾の学習活動から

子ども連帯対象に9年前より「年々四季の野菜」として体験しながら学ぶ農業実習とす。
野菜のつくり方、出来た野菜について学び、その野菜と料理に食することにより深く学び野菜をスー
ーで知らなかったり、学校でも体験食できなかったり、この地域の特性が、さらに秋田産に

B) 協働に関して

(1) みどり塾の協働の姿は...

学校・NPO・行政・サポーターと多くの人びとによる協働の輪によって「季節のバト」の企画・集客
実習など様々な具体化により運営にあり特に楽しい興味にかき研究により色々とシブは出る
この魅力も他地域でも展開することを望んでいるので農家のネットワークを大切にしています。

(2) 「水」グループの協働活動について

行政と水グループの協働関係によって市内の落合川・立野川・黒目川を定点調査、年2回による

湧水と河川調査は長年実施で、結果は現在も維持管理されつつ名水百選にも選定、水
は関係者のたゆまない努力の成果です。

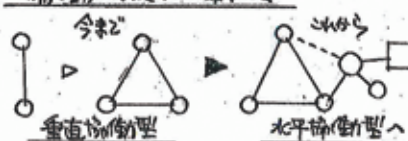
提言 ... みんなでワークの今後の活動とは

- ・「学習」ということ子ども連帯が主になっていますが、こども暮らしと環境の視座で大人たちが自ら学
ぶ機会、特に今SDGsなる考えも学校教育に導入されました。環境という概念もかなり
テーマがあります。人々が、人々が環境という現実からすれば早くも学習は人々から出てくる
ことだから、私たちは環境にやさしく健康で幸せな暮らしのために

- ・「協働」は人のつながりによってものごとが
達成したり、解決したりします。もっとも
多くの市民の参加と協働によって環境活
動が生まれ、さらに生活も生まれます
ご一緒に動こう...

協働から創発へ

協働の流れが新しく



- ・ネットワークやコミュニティの発達によって
「協働」の在り方が変わってきていく